

鼻炎に……くしゃみ・鼻みず・鼻づまり

第2類医薬品

鼻炎用内服薬
パイロン®S鼻炎顆粒

 **シオノギ製薬**

パイロンS鼻炎顆粒は4種の成分のはたらきにより、鼻炎によるくしゃみ・鼻みず・鼻づまりを緩和します。7才のお子様から服用できる鼻炎用内服薬です。

ほどよい甘さで、速く溶けてのみやすい白色の顆粒です。外出先でものめるよう携帯に便利なスティック包装しています。



使用上の注意 ……



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故がおこりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないで下さい

他の鼻炎用内服薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬など（かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬など）、胃腸鎮痛鎮痙薬

2. 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないで下さい

(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさなどの症状があらわれることがあります)

3. 長期連用しないで下さい



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者にご相談下さい

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- (3) 高齢者
- (4) 薬などによりアレルギー症状をおこしたことがある人
- (5) 次の症状のある人 高熱、排尿困難、むくみ
- (6) 次の診断を受けた人

緑内障、心臓病、高血圧、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談下さい

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	頭痛
泌尿器	排尿困難
その他	顔のほてり、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状がおこることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらつとする、血尿などがあらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛みなどがあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者にご相談下さい

口のかわき、眠気、便秘、目のかすみ

(裏面につづく)

4. 5~6日間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談下さい

…… 効能・効果 ……

急性鼻炎、アレルギー性鼻炎または副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：
くしゃみ、鼻みず（鼻汁過多）、鼻づまり、なみだ目、のどの痛み、頭重（頭が重い）

…… 用法・用量 ……

次の量をおのみ下さい。ただし、おのみになる間隔は4時間以上おいて下さい。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15才以上）	1包	3回
11才以上15才未満	2/3包	
7才以上11才未満	1/2包	
7才未満	服用させないこと	

●定められた用法・用量を厳守して下さい。

●小児に服用させる場合には保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

…… 成分・分量 ……

パイロンS鼻炎顆粒は、白色の顆粒で、3包（0.7g×3・成人1日量）中に次の成分を含有しています。

成 分	含 量 (3包中)	は た ら き
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	6 mg	アレルギー反応を抑制するとともに、毛細血管の拡張や、透過性を抑制し、くしゃみ・鼻みず・鼻づまりを改善する
ベラドンナ総アルカロイド	0.4 mg	鼻みずや、なみだが過剰にでるのをおさえる
グリチルリチン酸二カリウム	75 mg	鼻の粘膜の炎症を抑制し、鼻づまりをしめる
無水カフェイン	60 mg	頭が重い症状をすっきりさせる

添加物として D-マンニトール、キシリトール、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ハッカ油、含水二酸化ケイ素を含有しています。

…… 保管および取扱い上の注意 ……

- 直射日光の当らない湿気の少ない、涼しい所に保管して下さい。
- 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- 1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用して下さい。
- 使用期限をすぎた製品は、服用しないで下さい。



…… パイロンS鼻炎顆粒の服用とともに 次のようなことも心がけて下さい ……

アレルギー性鼻炎の日常の生活	急性鼻炎の一般的注意
<p>1. 室内、ふどんの清掃—原因の除去 2. 室内の換気・除湿・防カビ 3. ストレスをかける。 4. 規則正しい生活、十分な休養・睡眠、適度な運動 5. 酒、タバコ、辛いものは控える。 6. 外出は控えめに。 外出するときはマスク、メガネ、帽子の着用</p> 	<p>■保温 ・着衣、室温・湿度に注意 ・熱のあるときは入浴はさける。</p>  <p>■安静 ・無理な仕事や外出はさける。 ・暖かくして十分な睡眠</p>  <p>■栄養 ・温かくカロリーの高い、消化しやすい食事（例えは、スープ、牛乳、卵、やわらかい肉） ・ビタミンの豊富な食事（例えは、野菜、果物など）</p> 

…… お問い合わせ先 ……

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記までお願いいたします。
塩野義製薬株式会社「医薬情報センター」
電話：大阪 06-6209-6948、東京 03-3406-8450
受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）

「副作用被害救済制度」について
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

®：登録商標

製造販売元

塩野義製薬株式会社

大阪市中央区道修町3丁目1番8号